

令和5年度第1回 徳島県地域年金事業運営調整会議資料

資料5：委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

日本年金機構
徳島北年金事務所
(徳島県代表年金事務所)

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
1	山本委員 平成25年3月13日 開催の調整会議	後納制度による納付により、年金を受給できることとなった人数を教えてください	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	徳島県内の推定数字は作業により提供可能と考えるが、求められているのは全体の数字であり、機構として提供できるのか否かを確認したうえで対応したい。 後納制度を利用したことにより受給期間を満たした方は全国で、15,066人。
2	黒田委員 平成25年3月13日 開催の調整会議	厚生年金の適用・未適用の事業所データを提供できないか	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	日本年金機構個人情報保護管理金取扱要領、個人情報提供ガイドライン（事業所情報等の年金個人情報ではないが、個人情報保護管理規程において準用する）により、提供先と提供データ、根拠法令及び使用目的が定められているため、ご理解をお願いする。 【内部規定はお示しできないので口頭でご理解を得たい】
3	黒田委員 平成25年3月13日 開催の調整会議	厚生年金への加入については義務と考えるので、真面目な会社のみ損をしないよう、法による根拠を示してほしい	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	厚生年金保険法第6条（健康保険法は第3条）に該当する事業所は適用事業所とするとされています。 【社会保険六法を持参してお示ししたい】
4	野口委員 平成25年6月21日 開催の調整会議	ハローワークでの説明会で口座振替、クレジットカードの取扱いについて	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	「国民年金の保険料口座振替納付申出書兼依頼書」があり、必要事項をご記入のうえ、口座届出印を押印し、金融機関の確認印をいただいた後、提出していただくようになる。その場でご記入、押印いただいたら、金融機関へはこちらのほうから送付し、ご返送いただく取り扱いとしている。クレジットカードでのお支払いについては既に実施している。カード名義人は本人以外の家族のカードでも同意をいただければご利用いただける。クレジットカードの有効性の確認をさせていただいている。クレジット会社が一旦、立替払いをするので、カード残額がなくても納期に納付となるメリットはあると考える。
5	南委員 平成25年6月21日 開催の調整会議	県下で地域型年金委員と職域型年金委員はそれぞれどのくらいの数がいるのか。 職域型の年金委員は沢山いるが、地域型の年金委員については、少ないので増やしていかないといけない。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	地域型年金委員の方は、25年1月に更新の手続きがあり、現在、県下で18名です。地域型の年金委員は徳島北事務所管内584名、徳島南事務所管内458名阿波半田事務所管内190名徳島県として1,232名となっている。 年金委員の重要性を認識 職域型年金委員辞退時に人事異動等の場合は後任の方の推薦依頼、退職の場合は職域型から地域型への移行を勧奨する。
6	南委員 平成25年6月21日 開催の調整会議	年金出前授業の推進について	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	平成25年11月20日、年金セミナー実施。 60分、対象者：2年生 53名 平成25年度第2回資料「年金セミナーアンケート結果」のとおり

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
7	前田委員 平成25年6月21日開催の調整会議	高等学校での出前授業をぜひやっていただきたいと思っている。具体的な話があれば、ご相談いただいたら、協力させていただきたい	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	今後とも、引き続きご協力をお願いしたい。 平成26年度より教職員OB等を「地域年金推進員」として委嘱し、特に高校・中学を対象に個別学校訪問形式で年金セミナーなどの活動を行う予定。
8	南委員 平成25年6月21日開催の調整会議	エッセイの受賞者への記念品は	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成25年6月21日）	昨年も図書券だったが、応募の状況を見てみると、昨年、約450名の方に応募いただいたが、その中の85%の方が高校生だった。そういったこともふまえ図書券の予定です。
9	中村委員 平成25年6月21日開催の調整会議	地域年金展開事業について、色々な取組、広報を行う場合に、どこに狙いを置き、そのためにはいろいろな工夫が必要。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	委員の皆さまのご意見、ご協力、あとネットワーク等もぜひご活用させていただきたい。
10	谷口委員 平成26年3月12日開催の調整会議	資料3「年金事務所別の後納制度利用状況・納付状況」の徳島北・阿波半田年金事務所に比べ徳島南年金事務所の相談受付件数が非常に多いが何か要因はあるのか	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	徳島市の国民年金の管轄は徳島北年金事務所であり、お知らせ件数は徳島北年金事務所です。計上されているが、同じ市内にある徳島南年金事務所の方へご相談に行かれた方も多かったものと考えている。
11	青木委員 平成26年3月12日開催の調整会議	マスコミ等に対して、資料を情報として提供するなどして、後納制度の説明や状況を記事で広報してもらう等の試みもよいのでは。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	そういった機会を作れるようにしたい。
12	米澤委員 平成26年3月12日開催の調整会議	「年金セミナー」について、2年生の学生が対象ですが20歳ということ意識して対象として選定されたのか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	基本的には、20歳になる学生で、これから年金に加入、納付となる年齢です。
13	三宅委員 平成26年3月12日開催の調整会議	年金エッセイ募集の学校への働きかけについて	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	徳島県教育委員会へ協力依頼を実施。 県内大学、高等学校、中学校へ募集のポスター、リーフレットを送付。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
14	南委員 平成26年3月12日開催の調整会議	説明の言葉について、できるだけわかり易い言葉に置き換えるとか、もう少し詳しい説明が必要ではないかと感じた。 この制度は将来的にも維持されていく制度ですという説明をされた方がよい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	今後のセミナーの実施に活かしていきたい。
15	谷口委員 平成26年3月12日開催の調整会議	アンケートについて、講義を受ける前と後のイメージについて、五者択一となっているが、その理由も選択肢で選べるようにしたらいいのではないか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	全国統一的な様式となっており、また、スペースの関係もある。見直し等の時に要望としてあげたい。 なお、平成26年度のアンケート用紙について、見直しがされている。別添資料のとおり。
16	三宅委員 平成26年3月12日開催の調整会議	2000年生まれの方の試算があるが、何歳まで生きられたらという試算であるとの説明を加えたらと思った。資料が平成21年度財政検証結果レポートとなっているが少し古いのではないか	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	厚生労働省年金局から出ているものであり、新しい資料はまだ出ていない。出れば新しいものに差し替えをさせていただく。
17	村上委員 平成26年3月12日開催の調整会議	スタートしたばかりなので、企業に影響はないと思うが、これが進んできた時に各企業の年金委員の方にもこのようなことを行っているということを周知していただきたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	委員研修会等での周知を図りたい。
18	米澤委員 平成26年3月12日開催の調整会議	高校生、大学生が対象であれば、障害年金等のこともクローズアップして説明をしたらよいと思う。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	今後のセミナーの実施に活かしていきたい。
19	南委員 平成26年3月12日開催の調整会議	セミナー開催時のエッセイの入選作品集の配布	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	エッセイの作品集については、学校への配布についても考えていきたい。「知っておきたい年金のはなし」にも一部掲載されているのでこれを活用したい。
20	山本委員 平成26年3月12日開催の調整会議	地域型の年金委員の活動の場というのはあまりないのが現状であり、なかなか簡単には増やせない状況です。行政の方から自治体、地域の自治会、町内会に対してもう少し働きかけていただきたいと思います。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年3月12日）	地域に出向くということで、自治体に働きかけていきたい。自治体を辞められた方に地域型の年金委員への委嘱をお願いする等広めていき、どのような活動をすればよいのかも協議しながら取組を進めていきたい

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
21	米澤委員 平成26年6月13日開催の調整会議	今会議について、マスコミに対して積極的に働きかけていますか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	四国ブロック管内ではこれまで1件しか取材がない状況です。早めにプレスリリースをするようにしたい。
22	青木委員 平成26年6月13日開催の調整会議	年金セミナーで、もう少し文科省にも働きかけることが大事なのではないでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	一昨年から文科省にお願いをし、各県の関係機関および教育委員会に通知を出してもらっている。また、学生納付特例申請書の受付について、学校で受付できる仕組みも県の教育機関等へ通知を出してもらっている。
23	南委員 平成26年6月13日開催の調整会議	大学では持ち運びに便利なパンフレットを持って帰っている傾向です。少し小さ目なパンフレットにする工夫をお願いしたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	学生納付特例や20歳での国民年金加入などのチラシ・パンフレットはA4版の三つ折りでの提供ができます。また、「国民年金・厚生年金 被保険者のしおり」A6版もありますので、設置をいただきたいと思います。
24	草野委員 平成26年6月13日開催の調整会議	年金セミナー開催の働きかけについて特定の学校、大学に直接お願いに行くことが有効。今回、年金推進員として教員のOBを推薦させてもらった。これまでのネットワークでセミナー実施に向けて進めていければと思います。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	地域年金推進員の積極的な取組みにより、徳島北管内の高校20校のうち8校10回および中学校1校の合計11回のセミナーが実施できました。アンケート結果では、セミナー実施前と実施後では、年金制度に対する理解が大幅に増加しました。また、多くの意見や要望もいただきました。今後も、地域年金推進員の力をお借りしながら、セミナーを実施していただいた高校中学は引き続き実施に向けて取組み、また実施できていない高校は粘り強く要請を行っていく。
25	田村委員 平成26年6月13日開催の調整会議	地域年金推進員の委嘱要件②(管理担当事務所及び管轄地域内で活動できること)について、地域に沿った委嘱要件にした方がよいのでは。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	原則は管轄区域内ですが、地域年金推進員のこれまでの経験やネットワークの中で、管理担当事務所と相談して柔軟に対応してもよいと考えている。
26	草野委員 平成26年6月13日開催の調整会議	マスコミに取り上げてもらうために、学校でのセミナー実施のうえに、他の団体で、今までやっていなかった協力関係の場をつくるなど、目新しさを出した方がよいのでは。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	この会でいろいろご意見をいただき、より効果的なものを可能な限り取り入れて、マスコミに取り上げていただけるよう取り組んで参りたい。
27	南委員 平成26年6月13日開催の調整会議	「わたしと年金」エッセイについて、その作品をどう活用するかを考えていただきたい。うまく多くの人々に伝える活用の方法を考えていただきたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	教育委員会や高校、大学などの教育機関、市町村、社会保険労務士会、関係機関等へ送付している。また、年金委員・健康保険委員の研修会での配布、年金事務所の待合室への設置や日本年金機構HPでも公表しています。今後も多くの人に読んでいただけるよう様々なところへ設置または配布を取り組んでいきたい。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
28	南委員 平成26年6月13日開催の調整会議	ねんきんネットについて、もう少し簡単・便利な仕組みにしてほしい。高齢者にとって利用しやすくしてほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成26年6月13日）	ねんきんネットも「より使いやすい、より便利に」の視点で進化を続けておりますが、高齢者にとってはまだまだ使いにくいと考えます。もっと簡単で分かりやすい仕組みに引き続き本部に要望してまいります。
29	南委員 平成27年3月19日開催の調整会議	地域相談事業の実施状況について、事務所ごとに数字がありますが、前年度と比べての数字があった方がより活発になった取組み、取組みが足りない事業が見えてくるのではないかと。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年6月26日）	資料については、前年度と比較できるような資料を、できるだけ作成し提示したいと思います。今回は、年金セミナーの実施状況と納付率推移について提示します。
30	米沢委員 平成27年3月19日開催の調整会議	パンフレットやチラシの内容について、年金制度は分かりにくいとか、難しいというイメージがあるため、学生等や年金を受け取る側からの意見を取り入れ、初心者向け、学生向けとしたパンフ等を作成するというところでよろしいか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	前回のこの会議で「チラシ等をコンパクトにできないか」というご意見に対しお示ししたものです。今後、そのような意見を取り入れて作成していきたい。
31	南委員 平成27年3月19日開催の調整会議	年金制度説明会において、年金セミナーと同様に説明会終了後、アンケートを実施してはどうか。そのアンケートによりフィードバックされることによって、制度そのものをもっと理解していただくことがこの事業の能率を上げていくためには必要ではないか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年6月26日）	徳島北年金事務所ではアンケートを実施しているところですが、今後は全拠点において、事業所等に出向いて年金制度説明会をする場合は、終了後にアンケートを実施していきたい。
32	高橋委員 平成27年3月19日開催の調整会議	今後のセミナー実施の参考とするため、年金セミナーのアンケートの集計方法は、大学、高校、中学、専門学校の4種類の対象者に分類した方がよいのではないかと。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年6月26日）	年金セミナーについては、高校生を主として実施しているところですが、大学、専門学校、中学校においても実施するため、今後は4種類に分類して集計したい。
33	米沢委員 平成27年3月19日開催の調整会議	再就職支援セミナーで講師をした中で、再就職を支援する方に労働保険、社会保険を説明したが、年金のことを「もっと知りたい」という意見が多かった。女性の再就職に着眼して、関係機関にパンフを配布する等、事業展開してはどうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成27年3月19日）	働く女性が多くなっているため、再就職を支援する関係機関等に対しパンフ等設置の協力依頼をしていきたい。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
34	中村委員 平成27年3月19日開催の調整会議	年金セミナーについては学生が対象だが、その保護者や一般（現役世代）の方も対象としていく方法もあるのではないかな。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成28年10月28日）	・地域型年金委員の活動として、取り組むことを考えている。（27.6.26） ・平成28年3月に、事業所に出向いて、年金制度説明会を、55歳以上と55歳未満に分けて開催する。若い世代に対して、試みとして年金セミナーを開催する予定としている。また、28年度から学校の教職員や保護者に対するセミナーも計画中である。（28.3.24） ・平成28年3月に、40歳～54歳までの高校生・大学生の子供を持つ従業員を対象に、事業所に出向いて、年金制度説明会を実施した。内容は、年金セミナー的であったが、受講者に好評であったため、今後、事業所に出向いて実施する年金制度説明会の中に、55歳未満の従業員に対する年金セミナーも選択肢として追加することとした。また、教職員を対象とする年金セミナー開催に向け、年金推進員を通して学校側にアプローチしたが、時間的余裕がないため開催のメドは立たない状況である。その対策として、生徒向けの年金セミナーに、教職員の方にもできる限り出席していただくようお願いして何人かの教職員の方が出席している状況である。（28.10.28）
35	中村委員 平成27年3月19日開催の調整会議	保険料を納付した人と納付しなかった人の具体的な違いを示すことによって、年金に対する意識が違ってくるのではないかな。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成27年6月26日）	年金セミナー打合せ会において、地域年金推進員からも、同様な意見が出ている。保険料を納めた人と納めなかった場合や免除（猶予）申請をした人と申請をしなかった場合にどのような違いがでるのかについて、具体的な金額を示す等、講師が説明するようにしていきたい。
36	中村委員 平成27年3月19日開催の調整会議	エッセイ作品集のドキュメンタリーを放映したり、また、「わたしと年金」エッセイを読んだ方が「ねんきんネット」の活用方法にも興味を示すようなくみを作ると、より一層、お互いが、引き立つのではないかな。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成28年3月24日）	・エッセイ作品集のドキュメンタリーDVDの製作、及びエッセイ入賞作品集の最終ページにねんきんネットのPRを掲載することについて、本部へ要望します。（27.6.26） ・27年度エッセイ集に、「ねんきんネット」の広報については、不正アクセス問題のため実現していないが、引き続き、本部へ要望していきたい。（28.3.24）
37	南委員 平成27年6月26日開催の調整会議	徳島県では、「わたしと年金」エッセイ募集について、学校単位での応募が、まだ無いようだが、学校単位で応募できるよう開拓していただきたい。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成28年3月24日）	地域年金推進員のセミナーに対する情熱とご尽力により、学校単位の応募が県下3高校からあり、生徒280人の応募があった。その中から、厚生労働大臣賞に次ぐ日本年金機構理事長賞を受賞した。機構本部で表彰式があり、その後、出身学校でも全生徒の前で表彰式を執り行った。このことが地元新聞にも大きく掲載された。また、1月に開催された校長会に、四国ブロック本部幹部が出席して、お礼と協力依頼を行うことができた。28年度においては、年金セミナーを、高校1～2年生を対象として夏休み前に実施し、夏休みの宿題として、エッセイ応募に繋げていく計画をしている。
38	南委員 平成27年6月26日開催の調整会議	参加型年金セミナー資料について、学生は、生活費がどれだけかかっているかな等は、イメージしにくいと考えるが、数字を使うことも困難と思うので、講師が、そのヒントになるようなことをお話してあげると良い。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（平成28年3月24日）	年金セミナー資料については、制限がある中、地域年金推進員と年金事務所のセミナーPTが協議しながら、大学・専門学校、高校においても、進学校と就職校に応じた資料を作成して、それに応じた講義をしている。また、生活費等に具体的な数字を使用することについては、日本年金機構HP等の資料を使用し、講師ができるだけ分かりやすく説明している。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
39	委員 平成28年3月24日 開催の調整会議	年金セミナー実施後の生徒からのアンケート回答欄の「公的年金制度は必要だと思いますか？」の選択項目について、「必要ない」と回答し、その理由として、「5.民間の生命保険で生活」等は、学生には難しく、もう少し学生向けの選択肢にされたらどうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	年金セミナーに関するアンケート用紙については、機構本部が作成し、全国共通として使用しているところですが、確かに学生の方にはピンと来ないかもしれません。この項目も含め、アンケート内容の見直しについて、機構本部へ要望を上げております。
40	委員 平成28年3月24日 開催の調整会議	年金セミナー実施後の生徒からのアンケート結果について28パーセントの効果に繋がらなかった原因はわかりますか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	徳島県集計のアンケート結果では、「まあ良い」以上の評価がセミナー開催後は72%になり、残り28パーセントの原因の分析として、現行のアンケートでは、「意見欄」で判断するしか方法がなかったが、平成28年度からは、年金セミナーアンケートに、「今回、セミナーを受けた後も年金のイメージが良くならなかった理由はなんですか？」というストレートな質問項目を追加するように改めました。したがって、アンケート集計結果により、「効果に繋がらなかった原因」を分析することが可能となった。（別紙アンケート参照、全国共通）
41	委員 平成28年3月24日 開催の調整会議	県下高校に対して実施した年金セミナー・アンケートの内容と学校側からの要望について知りたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	アンケートの内容は、年金セミナー開催に協力できるかどうかを質問し、協力できる場合は、開催時期と対象学年について回答をお願いするという、シンプルな内容となっています。（別紙、アンケート用紙を参照） 学校側から要望として、通常のカリキュラムの中では、年金セミナーを開催する時間的余裕がないので、修学旅行中や学期末考査後の特別時間割に入れさせてほしい旨の要望が多い。その結果、セミナー開催時期が12月～2月に集中してしまうことになる。
42	委員 平成28年3月24日 開催の調整会議	年金事務所は、年金セミナー実施後の生徒からのアンケートの意見欄は生徒の生の声なので、これを今後の講義資料の中に組み込み、幅広い年齢層に対し講義ができるよう講義資料を充実して、年金推進員に協力してほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	年金事務所では、若手の県下年金セミナーPT（10名）を、昨年度より立上げ、セミナー講師や講師補助をしている。今年度は5月から毎月PT会議・研修会を開催して、重複開催等、年金推進員が講義できないときの講師として、講師養成研修と講義資料の見直しを実施している。また、年金推進員との打合せ会議を定期的に開催し、アンケート結果等も分析して、講義資料を改良した。 年金セミナーでは、専門学校、進学校、就職校など、受講生に合わせた講義資料作りや講義の流れに配慮するなど、年金推進員のレベルアップが図られている。今後も年金推進員と協力連携を図っていきたい。
43	委員 平成28年10月28日 開催の調整会議	年金セミナーは、教職員や保護者に対するアプローチはしているかどうか。また、事業所に出向いての年金制度説明会において、お子さんをお持ちの親御さんや保護者に対しては何か説明をしているか教えてほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	教職員に対する年金セミナーの開催について、年度当初に県研修課に協力依頼したが、先生方が一堂に会することは困難な状況との回答であったため、当面は生徒に対する年金セミナーにできる限り多くの先生方に参加していただくよう、学校側をお願いしている。保護者に対するアプローチは、事業所に対して年金制度説明会をする程度である。年金制度説明会は、55歳以上の方を対象として、年金手続きや退職後の年金等について説明をさせていただいている。高校生や大学生の親御さんのみを対象した説明会は実施していない。ただし、年金制度説明会に40歳代や50歳代前半の方が参加している場合は、学生納付特例制度の説明もしている。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
44	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	年金セミナーPT職員も講師をしているということだが、セミナー終了後のアンケート結果をよく分析して、年金制度をこれから支えていく若い世代に「将来の不安」や「制度の不透明さ」等を理解していただかないと将来に必ず影響がでると思う。特に生徒の「意見・感想」が一番大事な生の声なので分析に力をいれるようお願いしたい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	セミナー終了後に実施するアンケートの意見・感想は多くの生徒さんからいただいている。今後のセミナーPT会議・研修会において、詳しく分析して年金セミナーに役立てていくよう努めていく。年金セミナーについては、ほとんどは地域年金推進員の方に講師をお願いしているが、12月～2月にセミナーが集中するので、セミナーPT職員が講師をすることも多くなる。これまで地域年金推進員の方が講師をする場合も必ず補助者として参加させ、地域年金推進員の方の話し方等を実地研修させている。
45	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	事業所に出向いて年金制度説明会の対象年齢を決めているかどうか。若い方に老齢年金の請求の説明は理解が難しいので、すべての方を対象とするより定年前の方を集める方が良いと思うがどうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	以前は55歳以上の方を対象に説明会を開催していたが、若い方も年金制度そのものを知りたいというご意見もあり、今年度から若い方も含めて開催している。幅広い年齢層に対しても理解しやすい説明内容にするよう工夫をしている。年金への疑問は十人十色であり、だいたい説明会終了後に30分ほど延長して個別に質疑応答している。また、必要な方には年金加入期間照会票や年金見込額照会票をご記入いただき、後日、ご本人に直接郵送にて回答するサービスも実施している。本日のデモンストレーションは老齢年金請求について30分設定で開催したが、本番は基本1時間で開催している。
46	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	国民年金保険料の納付率は、60%ということだが、残り40%の方の対応や取組み状況について教えてほしい。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	40%については、国民年金保険料を納めていない未納者ということになるが、その中には、所得が少ないため一部免除申請が承認されても納められない方も含まれている。これら未納者全員に対し、納付勧奨を実施している。
47	委員 平成28年10月28日開催の調整会議	国民年金保険料を納付しない人に、厳しめの対応はできないか。また、納付しない理由は色々あると思うが、納められない原因を突き止めていけば、もっと対策ができると思うがどうか。 また、学生へのアプローチを強めていけば、今後の納付率にも繋がるのではないか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成28年10月28日）	国民年金は、未納者全員に納付勧奨している。一定所得があれば、差押え予告後、強制的に財産を差し押さえることはしている。また、学生へのアプローチについては、大学や専門学校に対するセミナー開催やイベントの協力依頼も含め、今後も強めていきたいと考えているところである。なお、高校生に対する年金セミナーにおいても、引き続き学生納付特例申請のPRに努めていく。
48	委員 平成29年3月16日開催の調整会議	DVDの視聴できるサイトとかあれば気軽にみられるのでは。また、5分くらいの短縮バージョンが好ましいと思います。	☐ 今回報告案件 ☒ 継続対応中 ☐ 報告済	貴重なご意見として、本部関係部署に要望してまいります。
49	委員 平成29年10月20日開催の調整会議	以前は、機構のホームページにはリーフレット類が多く掲載されていたが、最近は少なくなった気がする。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成30年3月20日）	委員の事務所を訪問し、機構ホームページ上のパンフレット類を確認。現在掲載してある分を確認していただきました。委員の希望された「厚生年金適用関係の手引き」については、各種手続きごとに、説明ページと届書ダウンロード機能がありますが、たしかに「手引き」は掲載されていないため、本部関係部署に要望してまいります。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
50	委員 平成29年10月20 日開催の調整会議	年齢別の国民年金納付率がわかる資料を出していただけたらと思いますが、いかがでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（平成30年3月20日）	地域年金展開事業を審議していただくためにも、状況把握できる資料として今回から資料として提示します。ただし、年1回しかリスト作成されません。
51	委員 平成30年10月17 日開催の調整会議	強制徴収、免除者数（特に学生納付特例）の件数等資料があればと思いますが、いかがでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年3月23日）	前回の会議でご要望がありましたので、今回から資料として提示します。
52	竹中委員 令和3年3月 書面開催の調整会議	資料を拝見して皆様方の仕事の大変さを感じました。ところで配布された資料が1～10と相当な量があり作成や印刷にもかなりの時間がかかっていると思います。内部では必要な資料であっても運営調整会議委員としては必ずしも必要でない場合もありますので配布資料を検討しても良いのではないかと思います。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年3月23日）	前回の会議でご要望がありましたので、今回から資料を変更いたしました。
53	木屋村委員 令和3年3月 書面開催の調整会議	現時点で新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立っていないことや、徳島県が全国に先駆けて小中学校に加えて高等学校段階の生徒にも1人1台タブレット端末を配備する「徳島県GIGAスクール構想」が本格的にスタートするので、オンライン視聴など、工夫した説明会の開催が可能となります。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年3月23日）	令和3年3月において新型コロナウイルス感染拡大が収束していないことから、日本年金機構は、「オンラインビジネスモデル実現の推進」を重点取組施策と位置づけて取り組んでおり、地域年金展開事業についても、年金セミナー・年金制度説明会・年金委員研修等のオンライン開催等、対面型から非対面型による取組への移行を更に進めています。 なお、実施にあたってはWeb会議ツール等を使用した非対面による実施を基本としますが、教育機関から要請があり、当該機関における新型コロナウイルス感染防止対策の徹底が可能な場合は、対面での開催も可能です。また、セミナー用動画（DVD）を活用した方法も検討していきたいと思います。
54	角委員 令和3年3月 書面開催の調整会議	資料6によりますと、県内3事務所とも20歳での国民年金保険料の納付率が低いことが見受けられます。そのことに鑑み、更なる制度周知（障害年金、学生納付特例等）の必要性を感じております。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年3月23日）	「日本年金機構令和3年度計画」において、20歳到達者について、職権による資格取得手続きを行った後、加入のお知らせと同時に納付書を送付することにより、納付が促され、納付月数が増加傾向にあることから、納付に重点を置いた制度周知及び納付勧奨に係る施策を強化するとしています。 これを踏まえ、「20歳到達者は、制度の入口時点における取組状況が将来的な納付行動に及ぼす影響が大きいと考えられることから、納付に重点を置いた取組を早期かつ確実に実施する」こととしており、その取組の一環として、20歳到達者に対する加入前のお知らせを送付しています。 また、20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務づけられていますが、納付が困難な場合、学生については、申請により在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。本人の所得が一定以下の学生が対象となります。学生納付特例制度の申請を希望される場合は、国民年金加入のお知らせ等と一緒に送付される学生納付特例申請書を利用させていただくこととしています。また、学生ではない期間は、保険料免除・納付猶予制度の対象となります。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
55	中西委員	地域型年金委員について 奉仕的協力員という位置づけから無報酬である事や、その活動内容が多岐にわたり場合によっては相当な負担になる事等から、推薦に臨んでは、先ず制度の十分な周知を図ったうえで本人の申し出によることが望ましいと考えます。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	年金委員は、年金制度について広く国民の皆さまに知っていただくとともに、制度への理解と信頼を深めていただくため、会社や地域においての普及・啓発活動を行っていただくために設置されました。地域型年金委員は、自治会や地域で活動することにより、年金相談が身近で気軽なものとして、地域住民と年金事務所を結ぶパイプ役として心強いものとなります。地域型年金委員の推薦にあたっては、原則として国または地方公共団体等の職員として年金事務に従事したことがある者または現に自治会長、民生・児童委員または社会保険労務士である者、その他過去に年金委員（社会保険委員および国民年金委員を含む。）として委嘱されていた者とされています。是非、制度の趣旨をご理解いただきたいと思います。
	令和3年3月 書面開催の調整会議			
56	仲野委員	・年金制度は、一般の方（特に若年層）には理解しにくい制度だと思います。コロナの対応として、非対面型の周知広報が進むのであれば、年代別の広報ツール展開など幅広い広報をすすめてはどうかと考えます。 ・若年層の納付率について、20歳になって初めての文書案内（年金手帳の交付など）が、面倒に感じさせないように、また、保険料の負担が、結果、将来の自分のためになるということが伝わりにくいように感じます。やはり、地道でも広報を続けていく必要があるかと思えます。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	・日本年金機構では、年金セミナーや年金制度説明会を充実させるため、退職者及び外国人向けの制度説明の動画をそれぞれ作成し、日本年金機構ホームページ及び厚生労働省Youtubeチャンネル等に掲載し、階層別の周知・広報を進めています。 ・若年層対策では、県下の高校生に対する年金セミナーを実施し、『20歳になったら国民年金』という意識を持ってもらえるよう取組をしています。令和2年度からは、20歳到達者向けに制度周知用の動画を作成し、日本年金機構ホームページに掲載してお知らせしています。この動画は、若年者の意見を反映するためにモニタリングを実施した上で作成し、①年金制度やメリットなどの紹介、②保険料の納付方法、③学生納付特例制度、④免除・納付猶予制度、⑤臨時特例免除の5つで構成し、分かりやすい内容としています。また、日本年金機構公式Twitterからも毎月、周知・広報を行っています。令和4年2月には、職域型年金委員を委嘱している事業所に勤務している従業員を対象に、Microsoft Teamsを使用したオンライン年金制度説明会（老齢年金請求手続き、在職老齢年金について）を実施しました。今後もオンラインセミナー・制度説明会等を充実し、非対面型の周知・広報をさらに進めていきたいと考えます。
	令和3年11月 書面開催の調整会議			
57	中西委員	コロナ禍にあって、どの年金事務所とも保険料納付率が前年・前々年度を上回るなど地域年金展開事業による事業と職員の方々の丁寧な取組の成果であると拝察します。また、市町村（職員）の立場としてお願いがございす。私共の下には、「年金事務所との電話が繋がらない」という住民の切実な声が多く寄せられております。年金事務所の職員の皆様が大変なご苦勞をされている事は承知の上でございますが、この点について更なるご検討をいただければ幸いです。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	年金事務所の電話が繋がりにくいということに対して、ご迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。日本年金機構の執り行う業務は、窓口や電話対応、バックヤード業務など多岐にわたっています。住民サービスの観点からも、いずれも大切な業務となっています。今回のご指摘については、貴重なご意見として承り、職員一同、より一層努力して参りたいと考えます。
	令和3年11月 書面開催の調整会議			

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
58	竹中委員 令和3年11月 書面開催の調整会議	・徳島文理大学の主に3年生を対象として授業の際、次のことについて手を挙げてもらいました。（人数が多いので、数は数えていません） ①年金の手続きについて、「納付」、「猶予」、「何もしていない」 ②年金制度について将来も続くと思うか、あるいは、給付額は維持されると思うか。 ③行政（国）や政治・政治家に対する信頼はあるか。 その結果は次の通りです。 ①については、「納付」が若干、「猶予」もそれなりにいたが、半数以上が何もしていない。 ②は、2/3程は給付額は維持されないと思いい、1/3程度が制度自体の維持に疑問を持っている。 ③については、大半が信用も信頼もないとした。 ・ここで議論してもどうしようもないし公的年金事業の運営に大変なご努力をしている貴事務所には大変失礼ですが、納付率向上のためには、政府や政治家に対する信頼が最も重要なことだと思いました。 ・高校生へのセミナーに加えて、納付が始まる主に大学2年生に対面で周知することも効果があると思いました。その際、年金制度の課題も合わせて説明することが欠かせないと思います。なお、年金制度や行政への信頼ということから考えるとパンフレットやポスターの効果は疑問です。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	貴重な授業でアンケートのお時間を取って頂き誠にありがとうございます。 ・この結果を受けて、年金制度が学生等の若年層に浸透しておらず、周知・広報が行き届いていないことを痛感しています。公的年金制度は、「世代と世代の支え合い」と言われるように、広く世代・年齢、地域・職域を越えた社会連帯の下に成立しているものです。 公的年金制度の運営にあたる日本年金機構にとって、地域、教育、企業の中での年金制度の周知、理解や支援のネットワークの再生・再構築が喫緊の課題です。年金制度に対する理解をより深め、制度加入や保険料納付に結びつけるため、地域に根ざした「地域における年金運営の展開に関する事業」（呼称：地域年金展開事業）を平成24年度から実施しています。学生等の若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただくこと、また、年金制度が身近で重要なものであると学んでいただくことは、地域年金展開事業の核となる取組です。 ・これまで地域年金推進員を委嘱している間は、高校生に対する年金セミナーを中心としていましたが、令和4年度については、大学生に対する年金セミナーも実施していきたいと考えます。 ・日本年金機構としては、「オンラインビジネスモデル実現の推進」を重点取組施策と位置づけて取り組んでいます。地域年金展開事業についても、年金セミナー・年金制度説明会等のオンライン開催等、対面型から非対面型による取組への移行をさらに進めていき、学生等の若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解してもらえるよう取組んでいきます。
59	上野委員 令和3年11月 書面開催の調整会議	コロナ禍における従来の説明会等が実施できなかった事例が多数あるがコロナを理由にできないというのは、理由として弱いので積極的な取組を望みたい。 若い人達の年金離れ（加入はしていても気持ち、特に期待感が薄くなっている）の対策がのぞまれる。	□今回報告案件 □継続対応中 ☑報告済（令和4年3月23日）	令和3年度においても、新型コロナウイルス感染拡大が収束していないことから、日本年金機構は「オンラインビジネスモデル実現の推進」を重点取組施策と位置づけて取り組んでいます。地域年金展開事業についても、年金セミナー・年金制度説明会・年金委員研修等のオンライン開催等、対面型から非対面型による取組への移行をさらに進めています。 若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただくこと、また、年金制度が身近で重要なものであると学んでいただくことは、地域年金展開事業の核となる取組です。国民年金保険料の納付率については、年齢層が上がるにつれて高くなる傾向にあります。言い換えれば、若年層の納付意識の向上が重要な課題であると言えます。そのため、年金セミナー等の開催や20歳加入時の周知・広報など、さらに充実するよう取組んでいきます。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
60	仲野委員 令和4年3月 書面開催の調整会議	年度末、年度初めにかけて、年金の制度改正が多くメディアで報道されています。加入者への普及活動については、将来を見据えた、安心できるような丁寧な説明をお願いしたいところです。 しかしながら、コロナの影響もあり、オンライン、DVDなど非対面での取り組みを進めていくとありますが、どうしても加入者に伝わりにくい部分もあると思います。制度周知には、特に若年層（大学生、採用間もない職員）の年金の将来に対する期待は低いと考えられるので、加入者との接点が増えるような取り組みをお願いします。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年10月27日）	令和4年度は制度改正が多いことから、加入者の皆様への制度周知等の広報活動を充実していかなければならないと考えています。しかし、コロナの影響から、今年度においても引き続きオンラインやDVDでの説明会を実施していく予定としています。なお、対面による説明会も希望に応じて実施します。非対面の説明会では、伝わりにくい部分もあるとのことご意見を踏まえ、今後は講義スタイルだけではなく、参加型の説明会（例えば「拳手」をいただく方法等）を検討します。
61	中西委員 令和4年3月 書面開催の調整会議	以前、運営調整会議（書面開催）において、地域型年金委員の一層の周知をお願いいたしましたところ、早速、本市の自治会や民生委員の会議に足を運ばれる等、真摯な取り組みをいただいたことに敬意を表します。 年金委員の活動によって、年金相談がより気軽に行われるなど、年金制度がより多くの住民の皆様身近なものとなりますようご期待を申し上げます。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年10月27日）	貴重なご意見をいただきありがとうございます。 年金相談が気軽に行え、年金制度が身近なものとなるよう、引き続き努めてまいります。
62	小笠委員 令和4年3月 書面開催の調整会議	・今後の年金制度において、将来の年金制度の屋台骨を背負うことになる若者の理解と協力は不可欠であると考えます。このため、すでに取り組まれている「動画」や「イラスト・マンガ（厚生労働省）」等を活用した若者向けの取っ付き易く、かつ、わかりやすい広報の充実にも努めていただきたいと思います。 ・働き方改革の推進及び（事業主負担を伴うものの）優秀な人材の確保の観点からも「短時間労働者の厚生年金保険の適用対象事業所（特に任意適用事業所）」の拡大及び積極的な運用のための周知広報にも積極的に取り組んでいただきたいと思います。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年10月27日）	・学生等の若年層に年金制度の正しい知識や手続きを理解いただくことは重要なことです。日本年金機構としてそのための、手段として（１）広報誌、ポスター、リーフレット等お客様向け文書の作成及び配布、（２）機構ホームページへの掲載（３）チャットボットや動画の活用（４）SNS（Twitter等）及びインターネット広告等を計画しています。今後も、わかりやすい広報の充実にも努めてまいります。 ・短時間労働者の厚生年金保険適用対象事業所の拡大は、令和4年度の大きな事業の一つです。対象となる事業所に対して、社会保険労務士と協力しながら事業主からの相談対応、説明会等への講師派遣や従業員一人一人への年金相談等を行うこととしています。また、事業所調査時にも、短時間労働者の適用の範囲等をその都度ご説明をしています。周知に向けて引き続き取り組んでいきます。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
63	竹中委員 令和4年3月 書面開催の調整会議	高等学校・専門学校に対する年金セミナーが2学期3学期に集中することですが、開催依頼の送付時期をもっと早くした方がよいではありませんか。4月ではすでに担当の行事は決まっていると思われます。 大学2年生が加入の時期となるものの、親元から離れて生活している場合、本人が気づかないことも多いと思います。大学生を対象に、年金セミナーとともに加入手続きについて、情宣活動などを実施したことはありますか。実績がなければ試行を検討してもよいと思います。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和4年10月27日）	高等学校における年金セミナー実施のアプローチについては、新年度の学年主任にさせていただきたいとの要望があったことから、4月になって開催依頼を行っていたところです。4月になってからの開催依頼では、すでに年間行事の大半が決まっている状況とのご意見をふまえ、送付時期について地域年金推進員とともに検討したいと考えます。 また、大学生の年金セミナーについても、学生の単位の取得等の関係から時間の調整が難しいところですが、大学側の理解が得られるようであれば実施していきたいと考えています。
64	松本委員 令和4年10月27日 開催の調整会議	「令和3年度 地域年金展開事業実施状況（資料2）」の中にある「ハローワークでの年金相談」について、社労士会でも毎週木曜日に年金相談を行っています、それも含まれていますか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和5年3月7日）	ハローワークでの説明会については、ハローワーク主催の雇用保険説明会の中で機構職員が参加し、年金制度等の説明を行い、届書の受付を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響もあり、現在実施ができていない状況となっております。 社労士会で開催されている毎週木曜日の年金相談については、対象外として含んでおりません。
65	浅岡委員 令和4年10月27日 開催の調整会議	・「令和3年度徳島県年金セミナー実施状況（資料3）」について、高校、専門学校が多いですが、大学の実施はないのですか。大学生が対象だと将来に向けての話し、今何をしないといけないのか。例えば学特の届けを出さないといけないとか、高校生と比べると身近に感じると思います。 ・高校生や専門学校生が、年金セミナーアンケートの結果で「年金がもらえないのではないか」というのは、どこからそういう風に思うのか聞かれたことがありますか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和5年3月7日）	・過去には大学でセミナーを行ったこともありますが、現在はコロナの状況等から実施をしておりません。国民年金制度、とりわけ学生納付特例制度を身近に感じている層ということもありますので、大学での年金セミナーを検討してまいります。 ・年金セミナーのアンケート結果については、機構本部で定めた様式を使用しているため、「年金がもらえない」などの理由を確認したことはありません。ご意見を踏まえ、より良い年金セミナーが実施できることもありますので、検討していきます。
66	仲野委員 令和4年10月27日 開催の調整会議	「令和3年度徳島県年金セミナー実施状況（資料3）」について、令和3年度の年金セミナーは19校22回1,360名。以前から実施されていますが、減っているのか増えているのか、今後増やしていく予定があるのでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和5年3月7日）	各学校へのアプローチも含めた、年金セミナーを専門に実施する地域年金推進員を2名委嘱し、令和3年3月までは、ほぼすべての高校で年金セミナーを実施できていました。令和3年4月から1年間の空白の期間ののち、今年の4月に改めて1名の方に委嘱できたという状況です。そのため、令和3年3月までの、地域年金推進員が年金セミナーを実施いただいた状況と比較すると、令和3年度の実施数はかなり少ない状況となりました。 令和4年度につきましては、新たに地域年金推進員を委嘱をさせていただきましたので、令和3年度以上の取り組みを考えているところです。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
67	今田委員代理山崎様 令和4年10月27日 開催の調整会議	年金セミナーの模擬実施について、スマートフォンを持ち込んだ参加型になるような講習、またはインターネットに接続して行えるようなコンテンツがあれば、ねんきん定期便であったり、ねんきんネット等につなぎやすいと思いました。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和5年3月7日）	徳島県だけで独自に導入することは難しいので、機構本部に意見を挙げさせていただきます。
68	松本委員 令和4年10月27日 開催の調整会議	年金セミナーの模擬実施で気になった点として、資料の内容について、各年金を受け取るためには何が必要か、という内容の記載がなかったということと、実際の年金セミナーでスマートフォンを持ち込んだ講習であれば、自分の意見を入れて質問がしやすいこともあるので賛同する意見でありました。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和5年3月7日）	年金セミナーの資料等につきましては、機構本部で作成していますので、年金の受給要件として必要なもの等の資料で追記が難しい場合は、口頭で説明を行う等対応してまいります。
69	仲野委員 令和4年10月27日 開催の調整会議	国民年金保険料の徳島県納付率の全国比はどのような状況でしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和5年3月7日）	国民年金保険料の納付率につきまして、令和4年10月末現在は全国では71.5%、徳島県では72.6%、全国順位が29位となっております。
70	上野委員 令和4年10月27日 開催の調整会議	年金セミナー事業につきまして、具体的な取組事項のなかには「大学、高等学校、中学校での年金セミナー実施」とありますが、令和3年も令和4年も中学校の実施がないということ、及び小学校も対象にしてみてもいいのでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和5年3月7日）	中学校への年金セミナー実施につきまして、以前に開催要請を行ったことがありましたが、現在は開催の要請を行っておりません。中学校としてもカリキュラムの関係で、授業として実施していくことが難しいところもございますが、小学校での年金セミナーの実施も含めて検討してまいります。
71	仲野委員 令和4年10月27日 開催の調整会議	・20歳到達者年金制度説明会というものが今年初めて入っておりますが、経緯についてお伺いします。 ・年金セミナーアンケートの結果について、年金セミナー前のイメージ「まあいい」、「いい」イメージは、どういう情報から判断しているのかかわれば、別なアプローチ方法とか、周知広報ができるのでないでしょうか。	☐ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☒ 報告済（令和5年3月7日）	・これまでは個別に20歳に到達した方に国民年金の加入勧奨や、手続き勧奨の際に説明を行っていましたが、今年度より説明会の実施を事前に案内を行い、連絡いただいた方に説明をさせていただく機会として新たに取組んだものです。手法を変えることにより20歳到達者に対し、広く周知広報を行っていきたいというところから20歳到達者制度説明会の実施となりました。 ・アンケートについては、機構本部で定めた様式となっており、年金セミナー前のイメージの理由等を記入する箇所がありませんでした。イメージの理由等の分析から、今までと違った周知広報のしかたも考えられることから、従来の質問事項とアンケート用紙のスペースの兼ね合いも含め、検討してまいります。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名 開催年月日	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
72	仲野委員 令和5年3月7日 開催の調整会議	・20歳到達者制度説明会について、何回何人参加されたのか、規模感について教えてくださいいただけますか。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・20歳到達前に手紙とパンフレット等を送付、電話や来所いただいたりしておりますが、300件程度の送付に対して、3〜4件程度の反応です。改善の余地もありますが、期待する件数まで届いていないのが現状です。
73	浅岡委員 令和5年3月7日 開催の調整会議	・20歳到達者制度説明会に来所される方について、学生であれば、大学とかのセミナー等で学特や免除の説明を聞いて、届け出に來られると思いますが、それ以外の方が來られるのでしょうか。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・阿波半田年金事務所では毎月30名ぐらいを対象に送付し、反応は数名程度となっています。来所される方は本人だけでなく親御さんの場合もあります。
74	浅岡委員 令和5年3月7日 開催の調整会議	・ねんきんネットの普及率はどのくらいでしょうか。令和4年度事業実績では800万を超えていると思います。以前は、マイナポータル経由のねんきんネットのアクセスは数千くらいしかありませんでしたが、改良以降の令和3年度末で70万人くらい一気に増えました。今年は半年で130万くらい、下半期ではもっと増えていると思われます。ねんきんネットを使って20歳到達者制度説明会等のアプローチをかけていくのも重要ではないかと思われます。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・令和4年度末時点での「ねんきんネット」利用者数は約908万人となり、令和3年度末から約138万人の増加となりました。また、マイナポータルとの認証連携者については、スマートフォンからの認証連携に対応した令和3年7月以降、急速に利用者が増加し、令和3年度末時点の約70万人から、令和4年度末時点では約216万人まで増加（ID・PW方式ユーザーは約8.3万人減少し、マイナポータル経由ユーザーは146.5万人増加）となりました。 ねんきんネットを使った取り組みについて、非常に有効と考えており、国民年金の加入の届出や保険料免除等の電子申請ができます。また、令和6年1月からは納付書がなくても、ねんきんネットからペイジー納付ができる機能等が追加される予定となっています。なお、国民年金の電子申請については、マイナポータル開設者全員に対してはマイナポータルの「お知らせ」へ通知を、ねんきんネット利用者（有効ID保有者）に対してはお知らせメールを送付して周知を行っています。
75	浅岡委員 令和5年3月7日 開催の調整会議	・年金委員の厚生労働大臣表彰は、ここ数年がいなかったのでしょうか。大臣表彰にも規定はありますが、受賞されると励みになるということも伺います。ぜひ推薦して喜んでいただければと思います。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・令和4年度の実績はありますが、直近では令和2年度に1人が受賞されています。大臣表彰の条件につきましては、年金委員として20年という要件があり、相当限られた方ということになります。大臣表彰までに退職や異動等で表彰を受けられない候補者もいらっしゃることは承知しています。該当される方には受賞いただけるよう努めてまいります。
76	高橋委員 令和5年3月7日 開催の調整会議	・年金セミナーについて、講師職員と補助者職員となっていますが、これは日本年金機構職員が行っていますか。 ・1年生から3年生まで、対象クラスが30名前後が多いように見受けられますが、1つのクラスで行っているのか、それとも任意で呼びかけて集まっていた方を対面で行っているのでしょうか。 ・DVDのセミナーについて、どのくらいの時間で行って、質問等はどういう風に集約していますか。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・講師につきましては、年金事務所の職員が赴いて行っています。以前は地域年金推進員がいましたが、令和3年3月に退任したため、令和3年度は空白でした。4年度から新しい方に委嘱をしましたが、初めてということもあり、年金事務所職員が実施してきました。 ・対象者につきましては、それぞれの学校のオーダーに基づいて行っているため、全員のケースであればクラス単位での場合もあります。 ・DVDにつきましてはおおむね40分程度で、アンケートにつきましては対面と同じものを使って、集約等も含めて先生にお願いをしています。

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
77	伊丹委員代理梯様	・年金セミナーに参加された方から、「よくある質問とか勘違いしそうなことを説明してほしい」、「自分が何をしたらよいのか、わからなかった」、「どういことをしたらいいのか教えてほしい」との感想を聞いていますがいかがでしょうか。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・ご意見を踏まえて、疑問点が少しでも払拭できるよう、今後の年金セミナーの中で反映させていただきたいと思います。
	令和5年3月7日 開催の調整会議			
78	上野委員	・年金セミナーのアンケート回答率について何パーセントだったのでしょうか。 ・年金セミナーのアンケートの方法について、サイトにアクセスしてアンケートを回収するという方法もいろんな機関でとられていると思いますが、今後どのように展開されていくのかお教えいただければと思います。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・アンケートにつきましては、全員の方に書いていただいております。 ・インターネット機能等を活用したアンケート方法については、日本年金機構では、現時点でそういった端末等を持ち合わせていないため、課題と考えます。
	令和5年3月7日 開催の調整会議			
79	上野委員	・日本で住む海外の方で働いている方も年金を納める方が増えています。主に企業に就職されている場合は担当者とか、職域型年金委員、社労士の外郭団体が発行しているリーフレット等で理解度を深めているのが現状と思いますが、海外の方についてもセミナーを実施していただくことは可能でしょうか。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・事業計画の中には記載していませんが、ご依頼をいただいた場合は、それぞれ調整等させていただいた上で随時対応いたします。また、退職される方が多い場合とか、年金の受給に関しても調整のうえ、対応いたします。
	令和5年3月7日 開催の調整会議			
80	小笠委員	・地域年金展開事業では公的年金制度の普及・啓発が基本で、伝えることに特化されていると感じます。いろんな人と話して聞く、意見交換を行う機会なども必要ではないかと思われま。年金セミナーは小中高大学と一括りになっていますが、大学生は20歳でまさしく国民年金保険料の負担する義務が生じる世代。その前の高校生は、広く薄く知る世代なので、セミナーの内容も変わってくると思います。職員の家族から聞いた話では、「保険料を払っていない」「年金制度そのものが将来どうなるのかわからない」などと同級生と話しをする機会があると聞きます。一方、クレジット納付は「ポイントがつくのが良いから払う」という話や、スマホのアプリやPayPayなど電子納付があれば非常に使い勝手が良いという話もありました。そういった意味から、いろんな人の意見を聞く機会を設ける必要があるのではないかと感じました。また、以前はパソコンを使った検索でしたが、今はスマホで、ハッシュタグ検索が中心となっており、大半がスマホで済むようになっています。今後はそのような形態での取り組みも必要ではないかと思ひます。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・地域年金展開事業では、情報の発信がメインとなった計画が多いのが事実です。大学校でセミナーを行った場合は、説明を行った後にディスカッションという形ではなく、個別にご質問をいただいて相談を行い、理解をいただいています。ここ数年はコロナの影響もあり、そういった取り組み等ができていなかったところがありました。ご意見を踏まえて取り組んでいきたいと思ひます。また、スマートフォン等の取り組みにつきましては、ねんきんネットから国民年金等の電子申請（関係届、免除、猶予、学生納付特例）ができます。また、国民年金保険料の納付について、令和5年2月20日からスマホ決済ができるようになっています。
	令和5年3月7日 開催の調整会議			

※本書は回答を終えた案件も削除することなく追記を行います。

■ 委員から寄せられたご意見等に対する対応状況

資料5（徳島県）

番号	委員名	ご意見、ご質問等の内容	進捗状況	対応方針又は考え方
	開催年月日			
81	仲野委員	・地域年金展開事業をより効果的、充実したものにしてい、そういった視点を少し持つていく必要があるのではないのでしょうか。参加者数やセミナー数を増やす、セミナーを開催した後の意見交換、アンケートでの改善点を活かしていく等、そういったところを行い、ブラッシュアップしていくことが必要なのではないのでしょうか。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・貴重なご助言、ご指導いただきありがとうございます。課せられた課題をしっかりと受け止めることが我々の使命と考えています。
	令和5年3月7日 開催の調整会議	・地域年金運営調整会議の委員同士の協力による連携で相乗効果のある取り組みもでき、スケールメリット以上のものが生まれるのではないかと思います。この会議の進行も、事業をより良いものにするにはどうしたらいい、そんな議論を行うようなものにしてはどうかと思ひます。		
82	高橋委員	・国民年金保険料の強制徴収について、過去であれば強制徴収までもっていくことがなかなかできなかったと思うのですが、催告状から督促移行に、大々的に国民年金は強制徴収するという広報をされてはどうでしょうか。	☒ 今回報告案件 ☐ 継続対応中 ☐ 報告済	・強制徴収については、コロナの影響もあり、ここ数年は実施していませんでしたが、令和4年度から再開となりました。強制徴収により納付に結びつけることは本意ではありませんが、やらざるを得ない状況もご理解いただきたいと思います。広報につきましては、厚生労働省等の調整もありますが努めていく所存です。
	令和5年3月7日 開催の調整会議			